



### ◆令和7年最後の12月定例会が開会！◆

～皆さんにとって2026年が、笑顔溢れる素敵な1年になりますように！～

12月定例会が17日に無事に閉会しました。今定例会では、一般会計補正予算案など議案19件が審議され、無事に可決されました

私は下記の2項目について一般質問しましたが、今年1年を振り返ってみると、4回あった定例会で毎回一般質問をすることができて、ちょっとホッとしています。

また、毎日元気に市役所に通い、傍聴可能な審議会や委員会、定例会はできる限り傍聴させていただき、勉強にもなりました。

市民の方からの要望やお願い、相談などは、すぐに関係部署を訪れてお話を伺い、改善してもらったりすることもあり、ますますの1年だった気がします。

早いもので1期目の任期4年もあと半年を切りました。まだまだ経験不足、力不足な面は多々ありますが、これからも全力で頑張りたいと思っていますので、よろしくお願いします！(^^)!



- ① プール開放事業について…暑いからプールに入りたいのに、暑すぎて入れない開放事業は見直すべきでは？
- ② 若手市職員の感性や価値観を市の活性化に役立てられないか？…郡山市の「Z世代活躍係」を参考に！

①プール開放事業については、9月定例会で質問する内容だと思いましたが、9月では開放事業が終わった直後で総括などもできてないと考え、ちょっと時期外れですがこのタイミングになりました。

去年は猛暑で開放中止になった日が多かったため、今年は第1部を8時からに前倒して、地域の実情を考慮して開放する学校も8校に増やすなどしましたが、去年以上の猛暑で第1部は開放できても、2部や3部は暑さ指数が基準を超えて中止になることが多く、本当に残念でした☹

暑いからプールに入りたいのに、暑すぎて入れない…これにはどうしても納得できず、市営のプールがなく小学校プール開放を楽しみにしている子どもたちのためにもと考え、しつこく質問したのです。

流山市では水温34℃を超えないと開放中止にしないので、猛暑の中でもほぼ中止にしないかったです。☺

#### 【答弁】

野田市は我孫子観測所での暑さ指数を開放の基準にしており、1部は全て開放できたが、2部は3回、3部は15回、暑さ指数が基準を上回り中止となった。開放中止でも、市民の方からのクレーム等は無かったが、来年度以降も猛暑が想定されるため、他の自治体の基準も参考にし、子どもたちにできる限りプールに入れるよう柔軟に対応して、開放事業を継続していきたい。

②7月に行政視察に行かせていただき、郡山市の「Z世代活躍係」という取組が大変参考になったのです。

郡山市職員のZ世代の若者の感性や発想をまちづくりに反映させるために、「Z世代活躍係」という、若手職員が自由にプロモーションできる専門の部署を作り、若者が主役になって活躍できるまち、Z世代に選ばれるまち「郡山」を目指しているのです。これは、質問と言うより提案、紹介をしました。

※Z世代…1995年～2010年生まれの世代のこと

#### 【答弁】

若手職員を集めて特定の部署を作るというのではなく、熱意とやる気のある若手職員を色々な部署に配置し、より良い野田市を作ることを考えている。部署を超えて意見を出しやすくし、その意見が管理職に届くよう、色々な研修を行っている。今後も若手職員の育成に力を入れ、市の活性化を図りたい。

#### ★一般質問を終えて★

プール開放事業については、今年と同じように暑さ指数を開放の基準にすると、来年度以降も猛暑により開放中止になる回が多くなるのが容易に予想されます。流山市のように水温を基準にして、気温がある程度上昇しても水分をこまめに摂らせ、休憩時間を増やすなど柔軟に対応して、熱中症のリスクを回避して開放することは可能ではないでしょうか？

市営プールがない野田市では、現行の小学校プール開放事業を続けていくことが、プールを楽しみにしている子どもたちに一番良い方法だと思います。野田市の来年度以降の開放事業に期待したいと思います。

## ★トピックス★

### 1, 文教福祉委員会で2泊3日、愛媛県松山市、高知県香美市&須崎市に行政視察に行ってきました！

「文教福祉委員会」の議員7名で、10月15日～17日、二泊三日の日程で松山市、香美市、須崎市に行政視察に行かせていただきました。私にとっては初めての四国上陸となりました。

初日は、松山市役所で幼稚園4園、小学校53校、中学校29校を対象にした『未来の「ふるさとまつやま」創造事業（次代に向けた特色ある学校づくり）』を視察。

この施策は、松山市に愛着と誇りを持ってもらうための「ふるさと教育」等の活動や、特色ある学校づくりを行っている学校に定額を交付し、SDGsの目標に繋がる活動を推進するための優れた取り組みを実践している学校には特別交付金を交付するもので、松山市を活性化させるための取り組みが大変参考になりました。

2日目は高知県の香美市立香北中学校で実践している「バカロレア教育」を視察。バカロレア教育とは、多様な文化への理解と尊重を育み、探究心に富んだ人材の育成を目的とする教育で、「探求」…質問すること、「行動」…実行に移すこと、「振り返り」…考えることを、常に繰り返す教育で、実際に全学年の授業を見学しましたが、生徒たちが生き生きと授業に参加している様子がとても印象的でした。

最終日は、高知県須崎市で「てくテックすさき」を視察。ここは最新のデジタル機器やプログラミングのできるロボット、3Dプリンタ、グラフィックや映像・楽曲の制作ができるソフトに触れることができる施設で、平日の午前ということもあり、実際に利用している子どもの様子は見られなかったのは残念でしたが、興味を持っている子どもたちには格好の空間、居場所になっているようでした。



文教福祉委員会の皆さんと香北中にて

飛行機やバス、特急列車を乗り継ぎ、かなりハードスケジュールな2泊3日の行政視察でしたが、視察で得た色々な情報を、これからの野田市に少しでも役立てられればと考えています。

## ●市議会ニュース●

12月定例会の初日に市長より「土曜授業については今年度で終了」として、来年度からは「児童生徒の一人一人が自分にあった土曜日の過ごし方を選択し、自分の可能性を広げて行けるように取り組んでいく。」と、市政一般報告がありました。先生方や保護者の方々はずでにご存知だと思いますが、改めて報告します。

千葉県では野田市以外に、土曜授業を導入している自治体はありません。導入を決めた2014年度とは社会情勢も大きく変わり、土曜日に塾に通ったり、習い事や部活をする子供も増え、先生方の負担増にも繋がり、野田市の教師不足の一因となっているとも考えられるので、私も一般質問で何度か見直しを求めてきた経緯があります。

もちろん、続けてほしいと考えている子どもたちや保護者の方もたくさんいるとは思いますが、土曜授業という形ではなく、現行の子ども未来教室を見直し学校で勉強をサポートする場を確保したり、部活を引退した中学3年生の受験対策にも繋がる学習支援を予定するなど、先生方には一切負担がかからない形で、今後の土曜日を考えており、野田市にとって大きな前進であると思っております。

野田市に住んでいて他市の小学校に勤める2人の教え子にこの件を連絡すると、「それが本当なら、野田市への異動を前向きに考えたいです！」と、言ってくれました。

それだけ、市内外を問わず義務教育の先生方には、この土曜授業の終了は大きな話題になっているのです。



野田市議会議員の金木祐輔と申します。活動報告書をポスティングさせていただきました。読んでいただけただけなら嬉しいです。もしご不要だったり、ご迷惑に感じられましたら、大変申し訳ございませんでした。下記アドレスまでご連絡いただければ、今後は投函しないようにいたしますので何卒よろしくお願い致します。

※ご意見などもこちらへ [kaneking@jcom.zaq.ne.jp](mailto:kaneking@jcom.zaq.ne.jp) または [kaneking3175@gmail.com](mailto:kaneking3175@gmail.com)

※「野田市 金木祐輔」で検索すると、教え子が作成してくれているHPが見られます。このバックナンバーも！